

第2期

津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 関連事業（令和7年度）

事業名	ページ
こども家庭センター（母子保健機能）及び関連事業	1
子ども医療費支給事業	2
地域子育て支援事業	3
放課後児童健全育成事業	4、5
第2子以降保育料無料化事業	6
小中学校給食費の補助事業	7
3歳から5歳児の保育所等副食費補助事業	7
0歳児選べる定期便事業	8
保育所等での使用済み紙おむつの保護者持ち帰り廃止事業	9
社会教育施設整備・利用促進事業	10
企業立地推進事業	11
つしまちあるきキャンペーン事業	12
土地利用推進事業	13
津島駅周辺まちづくり事業・（仮称）シビックプライド醸成拠点整備事業	14、15
津島おでかけタクシー事業	16
スポーツ施設整備・利用促進事業	10
東公園一体整備に係る事業	17
消防車両整備事業	18
地域防災力向上事業	19
定住促進事業	20
ヤングケアラー実態調査事業	21
ファミリー・サポート・センターお試し利用券配布事業	22
耐震性貯水槽整備事業	23

事業名	ページ
家庭防災支援のための防災補助メニュー強化事業	24
住宅耐震改修費等補助事業	25
消防団神島田分団車庫新築移転事業	26
子ども記者プロジェクト事業	27
天王川公園藤棚改修等事業	28
生活道路整備事業	29
空家解体促進費補助事業	30
軟骨伝導イヤホン設置事業	31

産後ケア事業が利用しやすくなります！

予算額 173万円 【拡充】

産後ケアのユニバーサル化に向け、これまでの「ショートステイ型」に加えて、新たに「デイサービス型」を実施し、様々なニーズに対応します。

○ 対象者

産後1年以内の母親及び乳児で産後ケアを必要とする方

○ ケアの内容

- ・産婦の体調管理、乳房ケア
- ・赤ちゃんの発育、発達、栄養方法に関する相談
- ・沐浴や授乳等の育児に関する相談

ショートステイ型（宿泊型）：医療機関に宿泊し、産後ケアを実施

デイサービス型（通所型）：医療機関に通所し、産後ケアを実施

○ 利用期間

7日以内

○ 利用の流れ及び利用者負担額

①利用希望者は市へ申込 ②指定された日時に産後ケアを利用 ③利用者は施設利用料を施設に納付
（所得水準により市から※助成あり）※住民税課税世帯 2,500 円/日、住民税非課税世帯 5,000 円/日

利用負担額の例：住民税非課税世帯の産婦がデイサービス型（施設利用料7千円※）を利用した場合
7千円（施設利用料）－5千円（助成金）＝2千円（利用者負担額）

※施設利用料は施設によって異なります





子育て世代を全面応援！！

18歳までの子ども医療費の入院・通院ともに **完全無料化**を継続し、子育て世代を支援します

予算額 3億1,901万6千円【継続】

津島市では、現在、子育て世代の一層の支援を図るため、所得制限なく18歳までの子ども全員の医療費を入院・通院ともに**完全無料化**しております。

今後も子育て世代のより一層の支援を図るため、引き続き事業を実施してまいります。

子ども医療費支給事業

1 対象者

6,928人

2 県内の実施状況

39市町村（令和7年1月1日現在 津島市と同等の実施状況）



東地区子育て支援センターで 新たに一時預かり事業を開始します

予算額 400万円【新規】

保護者が就労、通院、リフレッシュなどの理由により一時的に家庭で保育ができないときに、今までの保育所等に加えて、新たに東地区子育て支援センターでお子さんをお預かりする一時預かり事業を開始します。

	現在の一時預かり事業	新たな一時預かり事業
実施場所	保育所、認定こども園、幼稚園※	東地区子育て支援センター
利用時間単位	1日※	午前または午後
利用料金	1,500円（昼食・おやつ含む）※	500円（食事の提供は無し）



※実施状況は施設によって異なります。

●東地区子育て支援センターミーティングルームの施設改修後、事業を開始します。詳しい日程等はホームページで周知します。

放課後の学童の充実を図るため、 南こどもの家を建設します

予算額 1億5,172万円【新規】

市では、各小学校区にこどもの家を1施設計8施設開設して、放課後児童健全育成事業を実施しています。

近年、こどもの家を利用する児童数が大幅に増加しており、第1弾として平成29年度に西こどもの家、第2弾として平成30年度に北こどもの家、第3弾として令和4年度に神守こどもの家の建設を進めてきました。

引き続き、こどもの家を利用する児童が安心・安全に快適な環境で放課後を過ごせるよう、第4弾として現在の南こどもの家の南側に新たに施設を建設します。

○南こどもの家建設工事

(1) 工事概要

延床面積 約237㎡
構造規模 木造平屋

(2) 予算内訳

工事請負費	1億4,993万円
工事監理支援委託料	114万円
建築確認申請等手数料	65万円

(3) 工事期間（予定）

令和7年7月から令和8年3月まで

(4) 完成年月（予定）

令和8年3月



保育所等及び放課後児童クラブの デジタル化（DX）を推進します

予算額 457万3千円【新規】

保育所等や放課後児童クラブでデジタル化を推進し、保護者や児童と円滑なコミュニケーションが図れる環境を整備します。

① 保育所等多言語対応事業 207万円

日本で働く外国人労働者の増加を背景に、保育所等においても外国籍のこどもの数が増加傾向にあり、保育の現場では外国籍のこども・保護者への対応に困難を感じています。円滑なコミュニケーションを図るためICTを活用することにより、ヒトによる対面通訳を含む多言語通訳システム（32言語）を導入します。

② 放課後児童クラブICT化推進事業 250万3千円

利用者の利便性向上のため、放課後児童クラブにおける児童の入退室や欠席連絡、連絡帳機能を持ったアプリを活用し、保護者と放課後児童クラブが双方向で情報を発信できる連絡網システム（13台）を構築します。



子育て世代を全面応援！！



第2子以降（0～2歳）の保育料を完全無料化 （所得制限や兄弟姉妹の年齢制限なし）を継続します

予算額 3, 329万7千円【継続】

多子世帯の経済的負担軽減を図るため、保育所・認定こども園等の第2子以降の保育料を完全無料化します。

○ 保育所等の第2子以降完全無料化事業

＜対象＞

保育所、認定こども園等に入園している市内在住で保護者が扶養する子どもの上から数えて2人目以降

＜園児1人あたりの保護者負担軽減見込額（年額）＞

0歳から2歳 48,000円から624,000円程度



子育て世代を全面応援！！



昨年度に引き続き小中学校給食費を**完全無料化**！ 更に、保育所等の副食費も**完全無料化**します

予算額 2億4,204万2千円【継続プラス新規】

子育て支援とエネルギー価格・食料品価格等の物価高騰による保護者の経済的負担軽減を図るため、小中学校の給食費及び保育所・幼稚園・認定こども園等の副食費の**完全無料化**を実施します。

○ 学校給食費無料化事業（学校教育課） 1億9,629万8千円【継続】

<対象>

市立小中学校に在籍する全児童及び全生徒
約3,800人

<完全無料化期間>

令和7年4月から令和8年3月分まで

<児童生徒1人あたりの保護者負担軽減見込額>

年間 小学生 約51,000円
年間 中学生 約54,000円



○ 保育所等副食費無料化事業（子育て支援課） 4,574万4千円【新規】

<対象>

保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業所、事業所内保育所及び認可外保育施設に入園している市内在住の3歳から5歳児までの園児
約800人

<完全無料化期間>

令和7年4月から令和8年3月分まで

<園児1人あたりの保護者負担軽減見込額>

年間 約57,600円（月額 上限4,800円）

子育て世代を全面応援！！



0歳児の家庭に市職員がおむつ等の子育て用品を 無料でお届けします

予算額 595万5千円【継続】

赤ちゃんの健やかな育ちや不安、心配事がないかなど育児相談等で寄り添い子育てを支援するため、0歳児の家庭に市職員が訪問し、紙おむつ、おしりふき、ミルク、離乳食等から選択していただいた子育て用品を3回無料でお届けします。

○ 0歳児選べる定期便事業

＜対象＞

市内在住の0歳児(生後2か月から1歳になるまで)を養育する保護者

＜お届けする子育て用品＞

1人あたり総額約16,000円

＜訪問回数＞

3回(生後2か月、6か月、10か月)



子育て世代を全面応援！！



**保育所等での使用済紙おむつの保護者持ち帰りの廃止を推奨、
園での処分費用の一部を市が補助します**

予算額 200万4千円【継続】

保育所等に子どもが通園している保護者の負担軽減を図るため、保育所等における使用済紙おむつの保護者持ち帰りの廃止を推奨し、園での処分費用の一部を市が補助します。

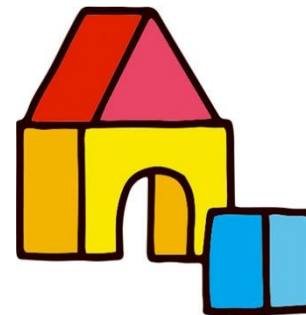
○ おむつ処分費補助金

<対象>

市内の保育所、認定こども園、小規模保育事業所

<補助基準額>

0～2歳児の在籍園児1人あたり約5,000円（年額）



安心安全な生涯学習環境を整えます ～高圧受変電設備改修事業～

予算額 1億8,794万6千円【新規】

生涯を通じて気軽に学び、またスポーツに親しむことができるよう、生涯学習センター、錬成館において高圧受変電設備を改修し、安心安全な生涯学習の環境整備を図ります。

○ 生涯学習センター及び錬成館高圧受変電設備改修事業 1億8,794万6千円

今後も安心して生涯学習センターや錬成館を利用していただくため、電気の使用に重要な役割を果たす高圧受変電設備について改修工事を実施します。

- ・ 生涯学習センター高圧受変電設備改修工事 1億349万9千円 （監理委託料 372万9千円を含む）
- ・ 錬成館高圧受変電設備改修工事 8,444万7千円



生涯学習センター



錬成館及び高圧受変電設備収納庫



新たな企業誘致区域（百町区域）の 検討を行います

予算額 4, 9 1 9 万 9 千 円【新規】

都市の将来の姿を示す「津島市都市計画マスタープラン」で位置付けられている「工業・物流拠点」の**百町区域**において、**新たな企業誘致区域の検討**を行います。

○企業誘致区域検討事業 4, 9 1 9 万 9 千 円【新規】

津島市**百町区域（約 30ha）**において、企業誘致の手法等を整理し、地元の方と対話をしながら、**新たな企業誘致区域の検討**を行います。

《参考》 当市の企業誘致区域の指定実績

平成 27 年度	宇治区域	7.2 ha
	白浜区域	6.5 ha
平成 28 年度	鹿伏兎区域	7.2 ha
令和 5 年度	越津・下切区域	18.2 ha
	下新田・大縄区域	3.4 ha
令和 6 年度	金柳区域	8.4 ha
合計		50.9 ha



【都市計画マスタープランの将来都市構造図】

見て、感じて、来たくなる 津島の魅力をまるっとお届けします

～魅力の発見から来訪のサポートまでまるっとプロモーション～

予算額 1, 285万1千円【新規・継続】

悠久の時を感じることができる魅力あふれる津島。まつりや食、技、伝統、文化、そして、これらに変化を加えつつも大切に繋いできた津島の人々。津島のイロハから、知っているようで知られていないまつりの裏側、来訪に際してのお得な情報まで、津島の魅力をまるっとお届けします。

○ 広報大使を活用した四季のまつりPR動画制作事業 583万円【継続】

ふるさと津島応援広報大使 神野大地氏が、四季折々の津島のまつりを支える人々にスポットを当て、動画で紹介します。

「英語」「中国語」「韓国語」の字幕付き動画も制作し、来訪のきっかけづくりとします。

- ・尾張津島藤まつり 176万円(債務負担行為済)
- ・尾張津島天王祭 231万円
- ・尾張津島秋まつり 176万円

○ 集まれ！あいちの魅力博。事業 40万7千円【新規】

愛・地球博記念公園において実施される愛知万博20周年記念事業「集まれ！あいちの魅力博。」に、特産品やグルメ、歴史・文化など、地域の様々な魅力を発信するブースを出展します。

○ つしまちあるきキャンペーン事業 661万4千円【継続】

名古屋鉄道（株）とタイアップし、津島駅までのお得な往復乗車券、クーポンなどがセットになった交通企画乗車券を販売します。

津島ならではの食や体験なども紹介し、知名度向上とともに市内での消費を促進します。

尾張津島
天王祭



神野大地氏



尾張津島
秋まつり



青塚駅周辺のまちづくりを推進します

～土地利用推進事業～

予算額 597万3千円【継続】

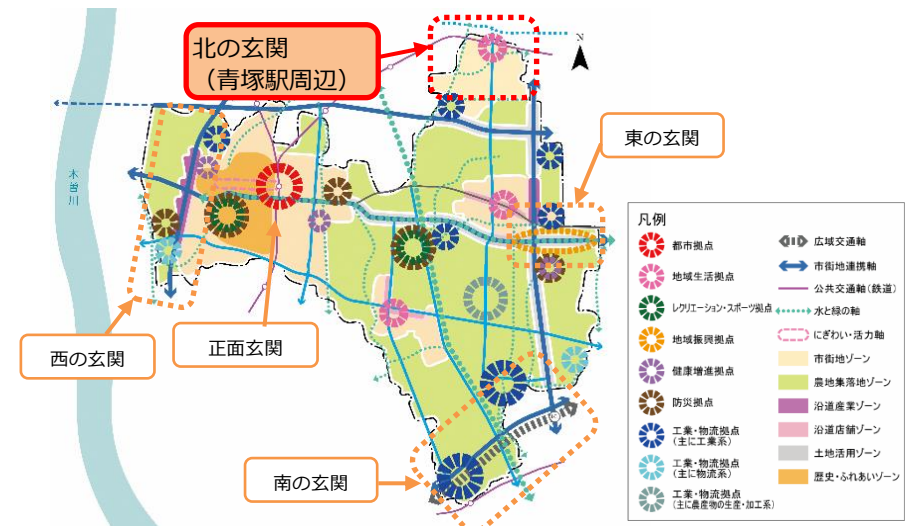
本市の**北の玄関**となる**青塚駅周辺**について、駅の近接性を活かした**居住環境の実現**に向けて、地域住民とまちづくりの対話を進めます。

○ 北の玄関口土地利用構想策定事業 597万3千円【継続】

快適で住みよい居住環境の実現に向けて、愛知県の道路事業計画に併せ駅前広場や踏切拡幅に関する協議のほか、市街化調整区域内の土地利用策として地域住民との対話を進め、必要に応じて都市計画素案の策定を行います。



【北の玄関（青塚駅周辺）のまちづくりイメージ図】

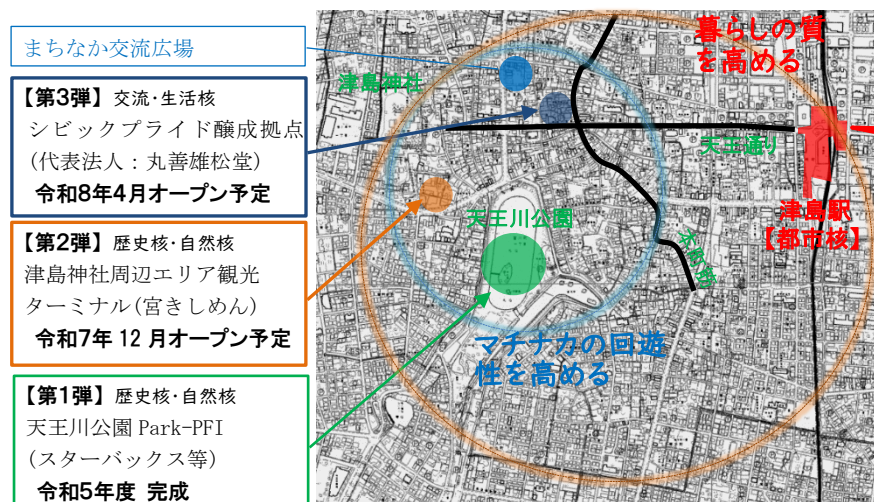


【都市計画マスタープランの将来都市構造図】

正面玄関となる都市核の取組を本格化！ 賑わいの拠点もいよいよオープン！

～市の**正面玄関**としてのまちづくりを本格化！～ 予算額 2 億 4, 5 8 2 万 9 千円【新規・継続】

- ① 津島駅再整備基本計画策定委託料 1,846 万 9 千円【新規】
賑わい活動の場所となる公共広場の設置や、公共・公益施設の必要性のほか、駅利用者の送迎用及び、バス等の公共交通を含めた駅前ロータリーの再配置等を検討し、今後の基本設計の考え方、設けるべき機能などの前提条件を整理します。
- ② 津島駅西側駅前広場物件移転補償費調査積算委託料 3,648 万 7 千円【新規】
津島駅の再整備として必要とする用地取得に向けた準備として支障となる建物の移転補償費の算出を行います。
- ③ まちなか交流広場用地取得 関係予算（用地取得・物件補償時含む） 1 億 7,273 万 1 千円【継続】
「まちなか交流広場」の整備に向けて、必要用地の取得に向けて用地購入費及び物件移転補償費を計上します。
- ④ その他関連委託料 1,814 万 2 千円【継続・新規】
景観計画の策定委託費（3 か年目）、民間開発の促進や事前防災に向けた地籍調査委託費、天王通り線の無電柱化に向けた電気・電話等の事業者及び公安委員会との協議資料の策定委託費 等々



【正面玄関（津島駅周辺）の主な事業】



【津島駅の航空写真】

魅力的な津島駅周辺の市街地を目指し、 駅東側の駅前広場等の整備を進めます

予算額 1 億 6, 3 6 6 万 2 千円【継続】

本市の正面玄関である津島駅周辺を魅力的な市街地にしていくため、**津島駅東側の駅前広場拡張工事**を行います。
また、駅前広場へのアクセス道路である（都）津島駅東線において、自転車・歩行者道の設置や交差点改良整備に向けた**道路予備設計**を行い、快適な市街地環境整備を推進していきます。

○ 津島駅東側駅前広場整備事業 【担当：都市整備課】 1 億 6, 3 6 6 万 2 千円【継続】

- ① 用地購入費（1 筆、A=457.04m²）
物件移転補償費（工作物 1 件） 4,818 万 4 千円
- ② 津島駅東側駅前広場拡張工事関係 1 億円
- ③ （都）津島駅東線 道路予備設計委託料関係 1,547 万 8 千円

【関連】津島駅周辺まちづくり事業 【担当：都市計画課マスタープラン推進室】

・地籍調査委託料 857 万 2 千円【新規】

国の地籍調査事業を実施して、敷地面積や境界を確定し、民間開発をすみやかに促進できるようにするほか、災害復興を見据えた事前防災準備にも取り組みます。

駅東側でのこれまでの事業経緯

令和 4 年度：物件調査、用地測量

令和 5 年度：用地交渉

令和 6 年度：用地買収、詳細設計、用途地域変更



【津島駅東側の航空写真】

大好評『津島おでかけタクシー』 利用者負担をさらに軽減！ ～タクシーを気軽に使える移動手段に～

予算額 4, 0 7 5 万 4 千 円 【拡充】

高齢者・障がい者・妊産婦の外出を支援する「津島おでかけタクシー」の市の負担額を半額から4分の3に増額します。

食料品や電気代など生活必需品の物価高が続く中、タクシーが4分の1の料金で利用することで日常的な外出を支援します。タクシーを気軽にお使いいただき、外出の機会を増やして、フレイル予防や健康増進につなげます。

<利用対象者>

- ・高齢者（75歳以上）
- ・障がい者（身体障害者手帳1～3級、療育手帳A・B判定、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者）
- ・妊産婦（妊婦及び出産後1年未満の産婦）

<利用できるタクシー事業者（令和7年2月現在）>

- ・名鉄西部交通(株)
- ・(株)玉利タクシー
- ・名古屋近鉄タクシー(株)

<登録・利用状況>

登録者数 3,943人（令和7年1月末日現在）
利用件数 60,233件（令和5年1月～令和7年1月）
（令和6年度1日平均 88件）

<利用者負担額シミュレーション>

乗車区間	現行 (半額支払)	7年度 (4分の1支払)	軽減額
神守支所～ 市民病院	1,180円	590円	590円 (往復 1,180円)
神守支所～ 青塚駅	1,330円	670円	660円 (往復 1,320円)
神島田公民館～ 津島駅	1,570円	790円	780円 (往復 1,560円)

※名古屋タクシー協会ホームページにて試算。

※迎車料金200円、時間指定料金300円を含む。

さらにお得



市民がつながる 魅力ある公園づくりを目指して ～東公園一帯整備基本構想の策定～

予算額 1, 6 7 3 万 9 千 円 【継続】

東公園地域の一帯整備を行うため津島市スポーツ推進計画及び津島市スポーツ施設整備方針を踏まえ、東公園地域周辺を一体的に整備するために必要な基本方針及びその手法の概略、将来的な実現の展望、解決すべき課題等を示すことを目的に東公園一帯整備基本構想を策定します。

○ 東公園一帯整備基本構想策定事業 1, 6 7 3 万 9 千 円

東公園一帯整備基本構想策定の期間は令和6年度及び7年度とし、今後の東公園一帯の在り方を整理します。

- ・基本構想に関する基本方針の検討
- ・公園整備エリアの設定、対象エリア内のゾーニング検討
- ・導入機能の配置案作成、導入機能案の事業手法の検討、整理及び事業概算の算出

(主な予算の内容)

東公園一帯整備基本構想策定委託料 1, 481 万 7 千 円

東公園一帯整備基本構想コンサルティング委託料 99 万円



県内初！ はしご自動車共同整備事業

津島市と愛西市が『共同ではしご自動車を更新し、運用する取り組み』をはじめます

予算額 1億1,315万5千円【新規】

現在、両市が個々に配備するはしご自動車を、昨年度末に締結した「連携協約」に基づき、共同で購入・運用する取り組みをはじめます。

○ 目的と効果

・ 目的

人口減少時代を見据え、両市の消防力を効率的に向上することを目的としています。

・ 財政的効果

比較の出動頻度が少なく高額なはしご自動車を共同整備することにより、導入と維持管理の両面で費用を大きく低減することができます。

【導入費用】 総事業費：2億2,777万9千円

(うち津島市負担分：1億1,315万5千円)

【維持管理費用】概ね17年：1億1,000万円(概算)

(うち津島市負担見込：5,500万円(概算))

・ 人的効果

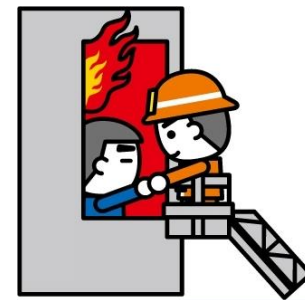
共同運用することにより、現場活動時の応援体制の強化のほか、相互の職員の意欲・能力の向上に資することができます。

○ はしご自動車の配置場所

期間を定め、津島市消防署と愛西市消防署に交互に配置します。

○ はしご自動車の仕様

4WS(4輪操舵)装置を備えた40m級はしご自動車を導入する予定です。



災害に備え、 地域防災力を一層向上させます

県内の市では初

予算額 3,895万円【新規・更新】

○ 被災者支援システム導入事業 85万4千円【新規】

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供するクラウド型被災者支援システムを導入し、災害時の被災者情報や家屋の被害認定状況などを一元管理します。また、マイナンバーカードを利用した避難所の入退所管理や全国どこでも罹災証明書のコンビニ交付ができる環境を整備します。



○ スマートロック（電子錠）設置事業 403万5千円【新規】

避難所となる市内12小中学校の体育館及び武道場の鍵を、暗証番号で開錠できるスマートロック（電子錠）に交換します。平時から自主防災組織や近隣町内会等に暗証番号をお知らせしておくことで、地域の皆様だけの避難所の開設が可能となります。

○ ハザードマップ更新事業 1,290万8千円【更新】

クラウド上にデジタル版のハザードマップを公開し、仕事や観光で訪問された方でも、いつでもどこでも災害ハザードが確認できる環境を提供します。また、紙の災害ハザードマップも更新し全戸配布します。

○ 海拔表示板設置事業 186万5千円【更新】

市民等の災害意識を高めるため、市内200箇所以上に標高を示す看板を再整備します。



○ 次世代高度情報通信網整備事業 1,928万8千円【更新】

愛知県主導の下、県内市町村等を高速、大容量で繋いでいる高度情報通信ネットワークを更新します。災害時でも安定した電話や一斉配信等が可能となります。（県内全域一斉事業）

定住促進事業の補助金を拡充します！

～省エネ住宅を購入された方への補助金の加算や
中古住宅取得後にリフォームされる方の区域拡大！～

予算額 900万円【拡充】

立地適正化計画における居住誘導区域（旧津島エリア）、地区計画区域（神守、唐臼）及び市内16箇所の団地内に国の補助を受けた省エネ住宅（GX志向型住宅）を新築された方に対し支援を行います。

また、居住誘導区域内で中古住宅を取得もしくはDIY型賃貸後リフォームされる方に加え、市内16箇所の団地で中古住宅を取得等される方に対し補助を行います。

○ 定住促進事業補助金 900万円【拡充】

・リフォームされる方に対し最大で150万円から170万円の補助を行います。

（内訳）・中古住宅取得分 150万円×6件 900万円



定住促進事業【継続】 ※ 赤字部分は拡充部分		
令和6年4月1日から令和9年1月1日までに居住誘導区域（旧津島エリア）、地区計画区域、市内16団地に新築住宅を取得又は中古住宅を取得、DIY型賃貸された方		
【場 所】 居住誘導区域又は 市内16団地 で 中古住宅をリフォーム 【基本額】 リフォーム費用の45%で取得の場合 100万円、賃借の場合120万円 【加算額】 市内の建設業者で施工最大30万円 空家の場合は20万円 中古住宅を取得の場合 最大150万円 中古住宅を賃借の場合 最大170万円	居住誘導区域の旧津島エリアで 新築住宅を取得 固定資産税（土地・家屋）3年間 最大60万円 親世帯と同居・近居 50万円 中学生以下の子が1人 10万円 長期優良住宅 10万円 省エネ住宅GX志向型住宅 10万円 2階建て 10万円 空家解体 50万円 親世帯が市内で居住し子が2人いる場合 最大210万円	地区計画区域又は市内16団地で 新築住宅を取得 固定資産税（土地・家屋）3年間 最大60万円 中学生以下の子がいる場合 10万円 長期優良住宅 10万円 省エネ住宅GX志向型住宅 10万円 空家解体 50万円 全て該当する場合 最大140万円
GX志向型住宅 とは国が直接補助するもので太陽光発電による電力創出・省エネルギー設備の導入、高断熱の外壁や窓にすることにより生活で消費するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅です。		

ヤングケアラー支援体制を構築し 連携支援をするための実態調査を実施します

予算額 304万7千円【新規】

家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者（＝ヤングケアラー）の存在について、近年、少しずつですが認知されるようになってきました。ヤングケアラーは一見ふつうのこども達のため、行政を始め、周りの人々が気づき、手を差し伸べることが困難な状況です。

津島市ではヤングケアラーではないか？と思われるこどもを把握し、官民連携して支援体制を整えていくため、市内の小学5年生・中学2年生・高校2年生世代を対象としたヤングケアラー実態調査を実施します。

○ ヤングケアラー実態調査

- (1) 委託料 304万7千円
- (2) 調査対象児童（約1,600名）
 - 小学5年生 約450名
 - 中学2年生 約550名
 - 高校2年生世代 約600名
- (3) 調査方法（アンケート調査）
 - 小中学生 学校にてWEB回答
 - 高校生世代 自宅へ依頼状郵送、WEB回答
- (4) 実施時期
令和7年9月～12月



ファミリー・サポート・センター事業の 無料お試し利用券を配布します

予算額 71万円【新規】

子育ての「援助を受けたい人（依頼会員）」と「援助を行いたい人（提供会員）」とを繋ぐファミリー・サポート・センター事業の利用を促進するため、無料で利用できるお試し利用券を配布します。

○ ファミリー・サポート・センター事業利用促進助成

<配布対象>

依頼会員及び両方会員の全員 約500人

<配布予定のお試し利用券>

配布対象者1人あたり2時間1,400円分（1時間700円×2枚）の無料利用券

<利用期間>

配布後から令和8年3月31日まで



大規模災害時に備え市内の小中学校に 耐震性貯水槽の設置を着実に進めています

予算額 3億7,298万円【継続】

昨年発生した令和6年能登半島地震においても、水の確保は深刻な問題となりました。津島市では、震災後においても一定の水を確保するため、市内小中学校へ耐震性貯水槽（40 t）の設置を計画的に進めています。これまでに神島田、高台寺、蛭間、神守及び南の各小学校5か所に耐震性貯水槽を設置してまいりました。

さらに、令和7年度には、東小学校と西小学校の2校で設置工事を実施します。

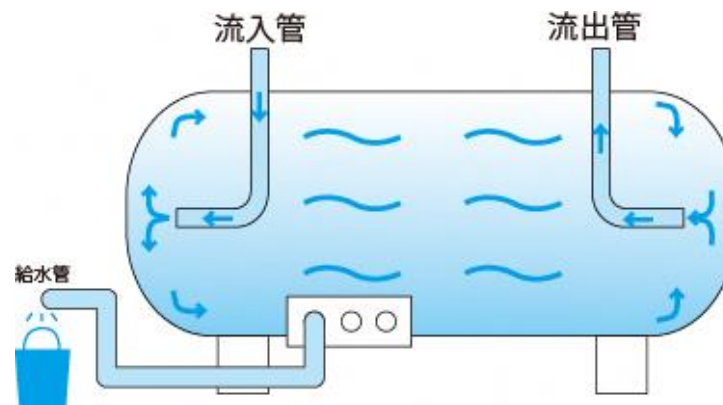
北小学校区の皆様には、文化会館の地下に埋設された100 tの貯水槽をご利用いただく計画であることから、これにより、すべての小学校における設置が完了する見込みです。

耐震性貯水槽整備事業 3億7,298万円

令和7年度は東小学校・西小学校の2校に貯水槽を設置します。

〈参考〉

市が設置する耐震性貯水槽は、水道水が絶えず循環する構造なので、災害後でもすぐに飲料水が供給できます。



家庭防災の支援のため、 防災補助メニューを一層強化します

予算額 4 5 5 万 8 千 円 【新規・継続】

○ 感震ブレーカー設置費補助金 3 0 万円【新規】

大地震発生に伴う電気に起因する通電火災を抑制するため、一定の揺れを感知すると通電を遮断する感震ブレーカーの購入及び設置に係る費用を補助します。

1 件あたり上限 3 千 円 × 100 件

○ 家具転倒防止金具取付等事業 4 2 5 万 8 千 円【継続】

住宅の耐震環境の向上のため、引き続き補助事業を実施します。

飛散防止フィルム貼付事業 100 件

家具転倒防止金具取付事業 25 件

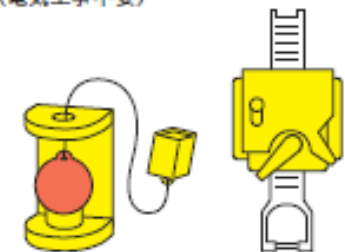
感震ブレーカーの例

簡易タイプ

費用：約 2 ～ 4 千 円 程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能
(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



おもり玉式

バネ式

(内閣府、消防庁、経済産業省提供のチラシから抜粋)

住宅耐震改修費等の補助金を拡充します！

予算額 1,860万円【拡充】

南海トラフ巨大地震は今後 30 年以内に発生する確率が 80%程度とされています。建物の倒壊を防ぐため、補強する壁を床下から天井裏の梁まで全体に板を打ち付けるなど、設計上の工夫をすることで費用や工期を抑える取組が有効であると注目されています。そうしたなか、新たに木造住宅耐震改修に加え精密診断法を用いた耐震補強設計費に対して 1 件当たり 20 万円補助を行います。

○ 住宅耐震改修等補助金 1,860万円【拡充】

- ・耐震性が不足している住宅の改修、除却及び倒壊の恐れがあるブロック塀等を撤去する場合について補助金を交付します。

(内訳)・耐震改修	10 件	150 万円×10 件	1,500 万円
・設計費補助 (精密診断法)	5 件	20 万円× 5 件	100 万円【拡充】
・耐震除却	10 件	20 万円×10 件	200 万円
・ブロック塀除去	6 件	10 万円× 6 件	60 万円

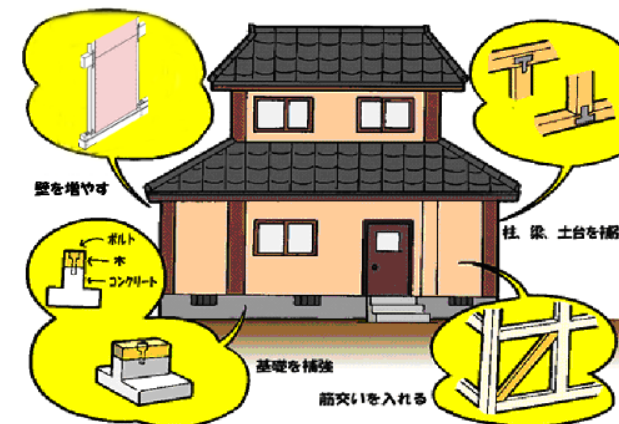
(条件)

○民間木造住宅耐震改修費補助金、民間木造住宅除却費補助金

- ・昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築（着工）された住宅。
- ・市が実施する無料耐震診断等において、耐震性が不足したものであること。

○ブロック塀等撤去費補助金

- ・ブロック塀等の高さが道路から 1 メートル以上であるもの。
- ・道路に面し、その境界から 2 メートル以内に設置され、倒壊の恐れがあるブロック塀等であること。



津島市消防団神島田分団車庫建設事業

神島田分団車庫を新築移転します

予算額 8, 077万8千円【新規】

現在の津島市消防団神島田分団車庫は敷地が狭小のうえ道路のカーブ沿いに建っており、消防団員及び通行車両等の双方に危険を伴うことが危惧されるため、令和7年度により広く、安全を確保できる場所として、神島田公民館の駐車場の一画に新築移転するため、建設工事関連費用を予算計上します。

(1) 工事期間（予定）

令和7年7月頃から令和8年3月頃

(2) 新分団車庫運用開始時期

令和8年4月運用開始予定



子ども記者が つしまの未来をスクープ！？

～子ども記者が津島のまちを取材します～

予算額 358万6千円【新規】

子ども記者が、進化していく津島のまちや、この町で商いを営むお店などを取材し、壁新聞にまとめます。
子ども達が「津島の今」を取材することで、子ども視点の「津島の未来」を描きます。

子ども記者プロジェクト概要（予定）

<対象者>

市内小学5～6年生から公募

<定 員>

20名程度

<スケジュール>

5月	参加者募集
7月末	キックオフイベント
8～10月	取材及び壁新聞づくり
11月	成果発表会
12月～	壁新聞展示



天王川公園の藤棚の魅力再生を進めています

～天王川公園藤棚整備事業～

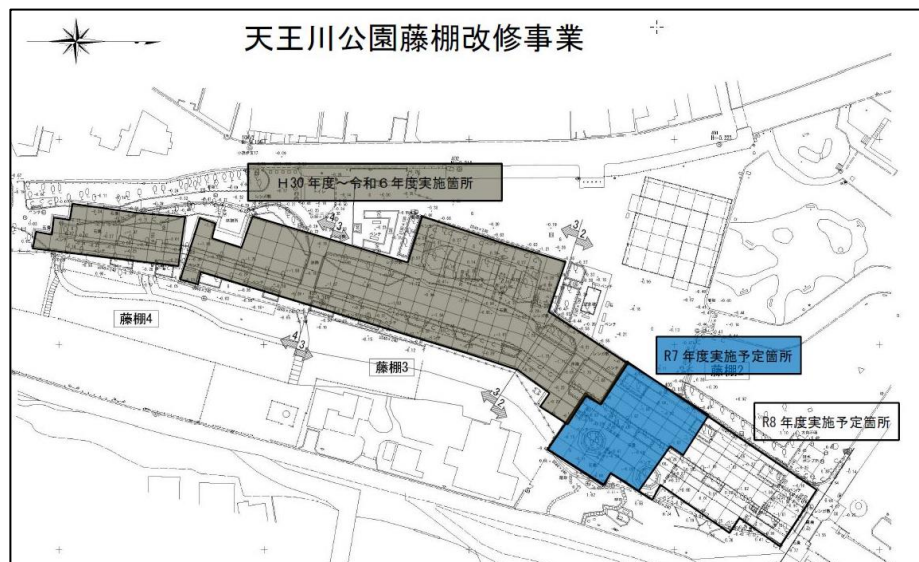
予算額 1億2,300万円【継続】

天王川公園の藤棚は、完成してから40年が経過しております。

藤棚改修工事は、総事業費約6億円の事業費による再整備を進めており、平成30年度より着手し本年度で8年目の改修を進めます。藤棚の魅力再生に向け令和8年度の改修完了を目指しております。

○藤棚改修工事 1億2,300万円

- ・藤棚改修工事 A＝約560㎡（全体整備予定面積 約3,756㎡）
平成30年度から令和7年度末 実施事業費 約4億6千万円
令和7年度末進捗率 約85%、令和8年度完成予定）



着手前



完了

市内の排水対策の改善を進めています

予算額 5億558万3千円【継続】

津島市内における排水対策の改善に向けて、愛知県と協力をして二級河川善太川の橋梁改修事業を進めています。企業誘致を進めている12号区域において、歩道整備に向けた道路中心線測量を実施します。

道路整備事業（主要な整備内容）

<負担金>

善太川改修事業 橋りょう工事負担金

（無名橋 C-107） 1 橋

予算額 1 億 5 0 0 万円

<委託>

12号区域（越津・金柳）道路予備設計（中心線測量）

2 路線（宇治百町線・神尾金柳線）

予算額 7 0 0 万円

<工事>

道路整備工事 L=660m（8 町内）

美しい並木道整備事業 1 路線（22 本）

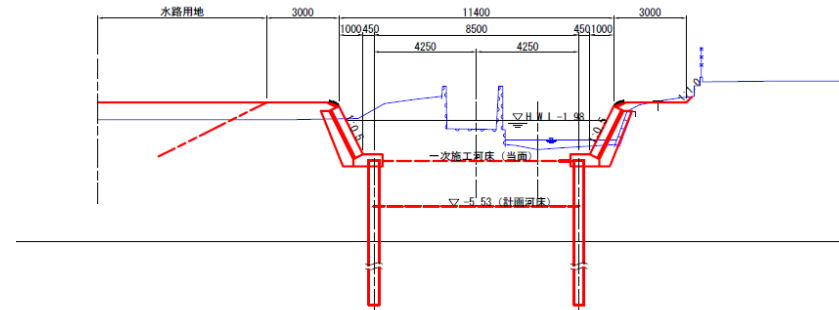
安全で快適な生活道路の整備工事 L=1,910m（5 路線）

道路長寿命化舗装工事 L=200m（2 路線）

避難路整備工事 L=200m（2 路線）

小路整備工事 L=200m（2 路線）

善太川改修断面図



現況河川幅 W=4.6m → 改修後河川幅 W=11.4m

空家を解体される方に 補助金を交付します！ 最大50万円！

予算額 750万円【拡充】

○ 空家解体促進費補助金 750万円

- ・市が調査し不良住宅と判定された空家所有者の方に1件あたり最大で50万円の補助を行います。
- ・補助予定件数を10件から15件に拡充しました。

(内訳)・空家解体 15件 50万円×15件 750万円

(条件)

- ・1年以上居住その他の使用がされていないこと
- ・延床面積の2分の1以上が居住用であること
- ・長屋・共同住宅の場合は、全ての住戸が空家であること
- ・木造及び鉄骨造であること



市役所総合案内に 軟骨伝導イヤホンを設置します

予算額 6万円【新規】

耳の聞こえづらい高齢者の方などが安心して来庁していただけるように、市役所の総合案内に軟骨伝導イヤホンを設置します。

軟骨伝導イヤホンは、耳の軟骨を振動させることで音が伝わるイヤホンで、音漏れが少なく、音が立体的で聞き取りやすくなると言われています。

「窓口で対応する職員の声が良く聞こえない」、「大きな声で話して、個人情報を知られたくない」など**耳の聞こえにくい方がスムーズに手続きできるよう支援**します。必要な方は、総合案内で貸し出し申請したのち、携帯して、庁内各窓口での手続きにご利用いただけます。

○ 軟骨伝導イヤホン購入費（2台分） 6万円

